

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年10月5日（木）

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO18

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵なお1日

～気づき・考え・行動する～

コミュニティスクールに感謝・・・3



10月28日（土）の体育発表会を目指して各学年の学習が始まりました。今年は、中学年→低学年→高学年、また各学年、走→表現という順番で発表していきます。それぞれ低中高学年の下学年から発表をします。走一つをとっても発達段階の違いを見ることができる事も見所だと思います。

さて、上の左の写真をご覧ください。これは全校で「春日音頭」の練習に取り組んでいる様子です。「春日音頭」と言えば実は昨年度は困ったことがありました。白水池の秋祭りで春日音頭を踊りたいという話があったのですが踊れる人がいないとの事でした。だからその当時主幹教諭だった伊藤（現春日小教頭）が、資料を探し出し、覚え、踊ることで、どうにか成り立ちました。

しかし今回、コロナも5類となり、体育発表会で、児童・保護者・地域の方が一堂に会し、「春日音頭」を踊りたいという体育主任「梅崎健太」の思いを、地域コーディネーターである「松永さん」が受け取り、「縄田さん」と「宮本さん」をゲストティーチャーとして招き、休み時間にはCS委員会の子どもたちに、健康タイムでは全校の子どもたちに「春日音頭」を伝授してくださいました。お陰様で子どもたちもほぼ踊れるようになりました。これで職員も含め900人近い人々に「春日音頭」が伝承されたので今後の地域の祭りでは安心ですね。

また右の写真をご覧ください。校長だよりのNO13でもお伝えしたように前期後半の重点を「あいさつ」としていたのですが、保護者の皆様のご家庭での声かけや職員の継続した子どもたちへの働きかけの成果もあり、最近格段にあいさつが良くなっています。質までも高まっています。所作が美しく「しんなり」とあいさつをする子どもが増えてきています。上の写真も次から次へと児童がやってきて「ありがとうございました。」と進んで挨拶をしている様子です。ほっこりしました。